



日本公認会計士協会

埼玉県会 CPAニュース

第7号 2010. 1. 1



CONTENTS

会長あいさつ	2
県知事メッセージ	3
東京会会長あいさつ	4
役員コラム	5
事業報告	6～7
公認会計士フォーラム埼玉大会	8～11
事務局だより	12～13
会員コーナー	14～15
県会業務推薦コーナー	16
ガバナンス	17
名簿	18～19
編集後記	20



埼玉県のマスコット コバトン



新年のごあいさつ

日本公認会計士協会
埼玉県会 会長
荒井 伸夫

新年明けましておめでとうございます。埼玉県会の会員の皆様には、お健やかに平成22年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より埼玉県会の事業及び会務にご協力をいただき、心より厚く御礼を申し上げます。

昨年7月に、宮原前会長の後を受けて埼玉県会の会長に就任しましたが、早速「第38回公認会計士フォーラム埼玉大会」の開催準備が待受けていました。この大会は、東京会に所属する1都9県の公認会計士が一堂に集い、会務報告や会員相互の意見交換を行なうとともに、公認会計士制度の普及とPRを図る目的で行われます。その運営は、9県会が順番で担当し、今回は、9年振りに埼玉県会担当となりました。

会場等の手配は1年前に済ませていましたが、埼玉県知事をはじめとする来賓の方々のご招待、特別記念講演やコンサートの内容、懇親会と催し物、翌日の観光とゴルフの設定、埼玉新聞等へのPRと一般参加者の募集等々やらなければならないことが山のようにあり、慌ただしい時を過しました。幸いなことに、宮原実行委員長や5人の副会長を中心に役員総出で対応をしていただき、県会会員の皆様のご協力もいただき、一般参加者を含め、300名を超える参加者になり、無事成功裏に終了することができました。

公認会計士フォーラムでは「地域社会に貢献する公認会計士」をテーマとしましたが、最近公認会計士の役割が地域社会に認められてきたためか、埼玉県をはじめとする地方自治体およびその関連団体からの監査委員や外部監査人、監事や各種委員会の委員等の様々な業務推薦依頼がきております。弁護士会など十士業で結成

した埼玉友好士業協議会や裁判所、法テラス協議会、事業承継支援センターなどの関係諸団体との交流を通じて会員の紹介や推薦依頼も寄せられています。今後益々ウエイトが高まってくるこの分野に、埼玉県会の多くの先生方に積極的に参加していただきたいと思います。

歴代会長の努力により、4年前から大宮ソニックスティに県会の事務所を設けることができ、30名を超える恒久的な研修会場が確保できました。これにより継続的な研修が可能となり、本部CS中継や埼玉県会独自の研修会で、CPE40単位が取得できるようになりました。親睦ゴルフ会の開催、新緑と紅葉時のウォーキング大会参加などの親睦活動、埼玉県知事、さいたま市長への表敬訪問をはじめとする広報活動にも力を注いでいます。

私たち公認会計士業界を取り巻く社会的経済的環境はここ数年大変厳しいものがあり、東京会も組織のガバナンスの見直しを迫られています。埼玉県会としても、今後の動向が大変気になるところであり、変革の流れの中に否応なく巻き込まれていくわけですが、地域会として独立する、しないという結論ありきではなく、協会本部や東京会の役員選挙の経緯なども含めて、県会の会員皆様と十分に研究し議論を重ねて対処していきたいと思っています。

次年度は、埼玉友好士業協議会の当番会が10年振りに公認会計士に回ってきます。「暮らしと事業のよろず相談会」や士業対抗親睦ゴルフ大会の開催が予定されています。会員皆様のご協力を得て乗り切っていきたいと思っています。本年も会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



埼玉から新しい道を切り開く

～未来への投資～

埼玉県知事

上田 清司

日本公認会計士協会埼玉県会の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成22年の新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

世界的な金融危機以降、企業を取り巻く環境が急激に変化する中、公認会計士の皆様の役割は一層重要になっていると認識しております。皆様が社会の要請に応えるべく日々御尽力されていることに深く敬意を表する次第です。

いよいよ「地域主権」へ大きく前進する年が始まりました。私は、埼玉での成功例を全国に発信し、ゆとりとチャンスの拡大に全力で取り組んでいく決意です。

厳しい経済情勢の中、私は「100年に一度の経済危機を言い訳にしない」という思いで県内経済の活性化、県民生活を守るセーフティネットの充実に最優先で取り組みました。

住宅ローン助成制度、太陽光発電の設置補助といった小さな投資で大きな効果を生み出す事業を実施。また、中小企業の資金繰りを支援する「緊急借換資金」の創設や新型インフルエンザへの対策強化などを進めています。多くの県民の皆様の参加により「みどりと川の再生」は大きく前進しました。

2010年、将来を見据え、新たな活力を生む「未来への投資」を更に進めてまいります。

次世代産業として期待される環境、介護、福祉など「新たな成長分野への集中的な投資」を行います。イノベーションの追求、新分野進出や海外

展開などに取り組む企業を支援してまいります。

また、社会を発展させる基盤となるのが「未来の担い手の育成」です。地域ぐるみの子育て支援や学校教育の充実は何よりも大切です。さらに若者の雇用の確保や、医療、福祉、農業など暮らしを守る生命産業の担い手を育成してまいります。

こうした未来の担い手が生きていく世界を守る、環境問題への対応は私たちの責務です。「みどりと川の再生」の拡大や地球温暖化対策への取組を加速します。

知事就任以来取り組んできた「安心・安全社会の実現」も更に進めてまいります。危機管理防災センター（仮称）の整備のほか、医師・看護師不足やがん対策など地域医療・保健の充実を図ります。

これからは自ら行う「自助」と行政が行う「公助」に加え、「共助」が重要な役割を果たすものと考えています。県内でも元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える「地域支え合いの仕組み」が広がっています。民間パトロールや「みどりと川の再生」などの県民運動もその一つです。

私は、この「共助」の取組を全県下に拡大させたいと考えています。共助社会が実現されるとき、「未来への投資」は何十倍もの効果を生み出すものと確信します。

何事にもチャレンジするとき、道は開かれます。717万県民の力を結集し、「ゆとりとチャンスにあふれた埼玉県」の実現に一步ずつ確実に歩んでいきましょう。



年頭所感

日本公認会計士協会
東京会 会長

尾内 正道

新年明けましておめでとうございます。

埼玉県会の会員及び準会員の皆さまにおかれましては、日頃より東京会会務にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年10月14日にさいたま市の「大宮ソニックスティ 小ホール」を中心にして、～地域社会に貢献する公認会計士～というテーマで開催した第38回公認会計士フォーラム埼玉大会が盛況裡に終了することができましたことは、偏に荒井伸夫県会長をはじめとする県会役員並びに県会会員皆さま方のご尽力の賜と深く感謝申し上げます。

犬飼基昭財団法人日本サッカー協会会長に特別講演会「DREAM～これからの地域社会におけるスポーツの重要性」というテーマで講演をいただき、続いて清塚信也氏によるレクチャーコンサート「～ピアノで辿るショパンの愛～」は清塚氏のトークとショパンの美しい旋律に至福のひとときを癒させて頂きました。参加者304名の皆さまには存分に愉しんで頂けたであろうと思われまふ。参加者の内81名が一般の方であり、公認会計士フォーラムの開催目的である公認会計士制度の普及とPRを外部に向けて図るという所期の目的は果たしたものと確信致しております。

さらに、パレスホテル大宮に場所を変えて開催された懇親会は、ご多忙の中、上田清

司埼玉県知事にご臨席賜りご挨拶を頂きました。懇親会は群馬県会の役員及び会員が登壇して来年のフォーラム群馬大会の成功を期して、「頑張るゾー」のかけ声で終了しました。

さて、東京会は協会本部の公認会計士の自主規制団体としての機動性と戦略性をもった事業遂行型組織への転換を目指し、本部役員機構と地域会との連携強化、自主規制機能発揮のための改革を受けて、6月の定期総会において東京会会員の意見集約機能と会員への伝達機能を集約するための東京会組織ガバナンス改革を具体的に実行するために、東京会の関連する規約を改正しました。

主な改正内容は、①東京会の副会長の定数を現行4名から7名に増員しました。内2名が本部理事を兼務し、本部理事1名が東京会の副会長（無任所）を兼務することになりました。②東京会会長を除いて、現行の副会長の三選禁止、幹事及び監事の四選禁止の多選禁止規定を外すことにしました。

なお、役員選挙関係の改正は平成22年の役員選挙からの適用となります。

東京会の33地区会の中選挙区をエリアとした特別部会（ブロック）を新たに分割設置し、特別部会の区域及び名称、その他必要な事項は細則をもって定めることにしました。現在、特別部会運営細則を制定して、次年度から具体的施策を講ずるための検討に入っております。

私の任期は残り5か月余りとなりました。

私の残された任期を、副会長をはじめ役員・地区会長各位のご協力を頂きながら会務及び組織ガバナンス改革に頑張っていりますので、県会会員の皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして新年のご挨拶と致します。



埼玉県会充実に 感謝

日本公認会計士協会
埼玉県会元会長

真下 和男

① 埼玉県会事務所 ソニックシティへ

ここ数年の埼玉県会の活動は活発であるとの評価が高い。県会の一員として大変喜ばしいことである。歴代の会長さんを始め、役員の皆様のご努力と会員の協力の成果であろう。

県会としてしっかりした基盤を作るため、固定した事務所が必要と考え、会員の寄附を募ったところ、埼玉県会はさいたま新都心の事務所を経て、大宮ソニックシティ8階に立派に立ち上げることが出来た。

この埼玉県会員の熱意に東京会も支援してくれたことは県会員も感謝したところである。これを景気として、CPEの地元開催や役員会・各種勉強会等増加する県会員に大いに利便となっている。

② 埼玉県フォーラム3度目の開催

第38回フォーラムが「地域社会に貢献する公認会計士」のスローガンのもと昨年10月14日・15日の2日間開催され、見事な成果を挙げることが出来た。埼玉県会が担当したのは、今回が3回目である。東京会の主催で各県が持ち回りで実施するが、各当番県の評価が問われるので、当番県は熱心に取り組むことになる。

今回は特別講演として財団法人日本サッカー協会会長犬飼基昭氏に「DREAM これからの地域社会におけるスポーツの重要性」と題して行われた。氏のスポーツに対

する熱意は埼玉県教育委員としての経験を踏まえた人柄が色濃く繁栄したものであった。プロとしての意識は業界が異なっても共通するとの感慨を深くした。

今回のゴルフは名門の霞ヶ関カントリークラブ、観光はリピーターの多い人気の川越と子供にも大人にも関心の高い鉄道博物館と満足すべきものであった。

③ 日本公認会計士協会・東京会・埼玉県会の今後の展望

日本公認会計士協会会長増田宏一氏は任期を残すこと1年となった。役員選挙やCPEや公認会計士会の多くの変革に取り組んで来たが、その取組と経緯について、フォーラムを通じてしっかり発表していただいた。会長選出についても増大した会員が選出するベターの方法として現状の選挙体制が出来上がったのであるが、会員からは必ずしも満足すべきものではないとの声も耳にする。組織改革時の全国総会の議長を小生は担当したので、引き続き重大な関心を持ってきたところである。

東京会会長尾内正道氏からも拡大しすぎたと思える東京会のご苦勞と今後の展望等の熱意をお聞きすることができた。埼玉県会会長荒井伸夫氏を中心とする役員の皆様と県会会員は埼玉県会が重大な岐路に立っていると認識している。

埼玉県会は豊富な人材を保有している。東京会を中心として各県会をまとめた効果的な取組みと埼玉県会の独自の動きとの併用が効果的であろう。埼玉県会の独立が必要であるとの機運が熟してきた。東京会や日本公認会計士協会もそれを望んでいるのではないだろうか？

時代の変化を読み取り、会員の為、協会の為に何が最善のシステムか勇気ある行動が望まれる時である。

平成20年度 事業報告

(H20. 4. 1～H21. 3. 31)

1. 会員及び準会員数（平成21年3月31日現在）

会 員	4 4 6 名
準 会 員	8 4 名
合 計	5 3 0 名
在 住 会 員	3 4 名

物 故 会 員	塩原 春夫 殿（平成20年4月23日） 久富 繁雄 殿（平成20年6月21日） 西川 一郎 殿（平成20年12月28日） 高柳 健一 殿（平成21年3月4日） 野田 光二 殿（平成21年3月19日）
---------	---

2. 事業報告（及び活動報告）

4月4日(金)	定例常任幹事会
4月11日(金)	月次勉強会（リース取引の会計と税務）
4月12日(土)	親睦ゴルフ会（吉見ゴルフ場）
5月7日(木)	定例常任幹事会、所沢市へ選定委員会委員の推薦
5月8日(木)	エコオフィス化改修事業選定委員会委員の推薦
5月18日(日)	飯能新緑スリーデーマーチ・懇親会
6月4日(木)	定例常任幹事会
6月5日(木)	東京会定期総会
6月12日(木)	協会本部本曜講座（CS中継）、監事監査
6月13日(金)	月次勉強会（事業承継）
6月24日(火)	埼玉弁護士会との懇談会
6月26日(木)	協会本部本曜講座（CS中継） 東京会弔慰金プロジェクト
6月28日(土)	親睦ゴルフ会（熊谷ゴルフクラブ）
7月3日(木)	定例常任幹事会
7月8日(火)	公認会計士制度60周年記念式典（CS中継）
7月9日(水)	本部定期総会（CS中継） 中小企業基盤整備機構と面談
7月11日(金)	埼玉新聞本社竣工パーティ
7月12日(土)	役員会、定期総会、研修会（新公認会計士法と個人・ 中小事務所への影響）
7月25日(金)	東京会役員会、埼玉県医師会に外部監査人を推薦
7月28日(月)	東京会地区会長会議
8月1日(金)	東京会弔慰金プロジェクト、埼玉県医師会と面談
8月4日(月)	定例常任幹事会
8月20日(水)～22日(金)	協会本部夏季全国研修会（CS中継）
8月20日(水)	さいたま市方法務局と面談、委員会委員を推薦
8月22日(金)	さいたま市改革推進室と面談
8月27日(水)	中小企業基盤整備機構事業承継説明会
8月29日(金)	相川さいたま市長表敬訪問
9月1日(月)	親睦ゴルフ会（妙義カントリークラブ）
9月8日(月)	本部C P E推進委員会 公認会計士フォーラム千葉大会実行委員会
9月10日(水)	埼玉県社会福祉事業団へ監事を推薦
9月11日(木)	東京会弔慰金プロジェクト 埼玉友好士業協議会幹事会
9月12日(金)	東京会地区会長会議
9月16日(火)	法テラス地方協議会、C P A国民年金基金理事会
9月22日(月)	国立身体障害者リハビリテーションセンターへ委員 を推薦
9月25日(木)	国立身体障害者リハビリテーションセンターと面談 本部IFRSの現状と世界の動向（CS中継）
10月6日(月)	埼玉県知事表敬訪問、定例常任幹事会
10月9日(木)	埼玉友好士業協議会幹事会
10月15日(水)	9県会会長会議、東京会役員会
10月16日(木)	公認会計士フォーラム千葉大会
10月17日(金)	親睦ゴルフ大会（鷹之台ゴルフ倶楽部）、観光
10月22日(水)～24日(金)	協会本部秋季全国研修会（CS中継）

10月28日(火)	東京会弔慰金プロジェクト、東京会役員会
10月30日(木)	埼玉友好士業親睦ゴルフ大会
11月1日(土)	日本スリーデーマーチ（東松山）、懇親会
11月8日(土)	巡回研修会川越大会（民事再生の最新実務）
11月11日(火)	定例常任幹事会、川越市と面談
11月15日(土)	埼玉友好士業「暮らしと事業のよろず相談会」
11月17日(月)	さいたま地裁へ講演会講師を推薦
11月26日(水)	財団法人建設産業団体連合会に公認会計士を紹介 川越市に包括外部監査人候補者を推薦
11月28日(金)	東京会弔慰金プロジェクト、東京会役員会
12月3日(水)	定例常任幹事会
12月5日(金)	財務省入札等監視委員会委員の推薦
12月10日(水)～12日(金)	協会本部冬季全国研修会（CS中継）
12月13日(土)	定例研修会、忘年会
12月16日(火)	埼玉新聞経済欄にインタビュー記事を掲載
1月1日(木)	埼玉県会C P Aニュース第6号発行
1月7日(水)	埼玉新聞主催新年会に出席
1月15日(木)	定例常任幹事会
1月16日(金)	埼玉県福祉部へ社会福祉施設等監査指導に係る公認 会計士の推薦、所沢市医療センターへ委員の推薦
1月19日(月)	東京会役員会・地区会長会、新年会
1月20日(火)	協会本部新春全国研修会（CS中継）
1月24日(土)	親睦ゴルフ会（熊谷ゴルフクラブ）
2月6日(金)	定例研修会（検査から見た県内私立幼稚園法人の状 況について、地方公共団体に関する監査の現状）
2月13日(金)	埼玉県高速道路（株）経営懇話会へ委員の推薦 東京会役員会・地区会長会
3月10日(火)～12日(木)	協会本部春季全国研修会（CS中継）
3月11日(水)	埼玉県健康づくり事業団監事の推薦 埼玉新聞経済欄に掲載「財務の信頼性確保が使命」
3月16日(月)	埼玉県創業・ベンチャー支援センター交流会
3月18日(水)	定例常任幹事会
3月24日(火)	公認会計士フォーラム埼玉大会第1回実行委員会 埼玉県農林公社経営懇話会へ委員の推薦
3月25日(水)	東京会役員会・地区会長会



埼玉県のマスコット コバトン

平成21年度 中間事業報告

(H21. 4. 1～H21. 11. 30)

1. 会員及び準会員数（平成21年11月30日現在）

会 員	4 4 8 名
準 会 員	8 4 名
合 計	5 3 2 名
在 住 会 員	3 8 名

物 故 会 員	高尾 賢 殿（平成21年 4 月 27 日）
	勝田 重道 殿（平成21年10月 6 日）

2. 事業報告（及び活動報告）

平成21年	4月5日(日)	親睦ゴルフ会（大麻生ゴルフ場）
	4月14日(火)	埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
	4月15日(水)	定例常任幹事会 埼玉県総務部へ、埼玉県熊谷地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議の委員を推薦
	4月20日(月)	埼玉県福祉部へ、埼玉県社会福祉法人認可等及び介護老人保健施設審査委員会委員の推薦
	4月24日(金)	さいたま市改革推進室長と面談 埼玉県会活動報告会及び懇親会
	4月27日(月)	さいたま市指定管理者選定委員会委員の推薦
	5月11日(月)	所沢市指定管理者選定委員会委員の推薦
	5月19日(火)	東京会定期総会議長団打合せ
	5月29日(金)	埼玉県産業労働部と面談
	6月3日(水)	定例常任幹事会
	6月5日(金)	東京会定期総会、弁護士事務所（民事再生）に公認会計士を紹介
	6月10日(水)	監事監査
	6月11日(木)	協会本部木曜講座（CS中継）
	6月12日(金)	月次勉強会（会計委員会答申書詳細解説・DVD） 推薦委員会（埼玉県会役員改選）
	6月25日(木)	協会本部木曜講座（CS中継）
	7月2日(木)	定例常任幹事会
	7月4日(土)	親睦ゴルフ会（熊谷ゴルフクラブ）
	7月8日(水)	本部定期総会（CS中継）
	7月11日(土)	役員会、定期総会、懇親会 研修会（学校法人監査におけるリスクアプローチ）
	7月14日(火)	さいたま市長表敬訪問
	7月17日(金)	埼玉県公園スタジアム課と面談
	7月18日(土)	公認会計士フォーラム埼玉大会県会実行委員会
	7月22日(水)	公認会計士フォーラム埼玉大会実行委員会
	7月27日(月)	東京会役員会・地区会長会議
	7月31日(金)	埼玉りそな銀行本店訪問
	8月4日(火)	定例常任幹事会 埼玉県信用保証協会へ委員を推薦
	8月5日(水)	さいたま地方法務局へ委員を推薦 埼玉県企画財政部へ委員を推薦
	8月6日(木)	埼玉県公園スタジアム課へ委員を推薦
	8月10日(月)	公認会計士フォーラム埼玉大会への後援を依頼 (埼玉県商工会議所連合会・埼玉経済同友会、埼玉県経営者協会)
	8月18日(火)～20日(木)	協会本部夏季全国研修会（CS中継）
	8月20日(水)	さいたま地方法務局と面談、委員会委員を推薦
	8月27日(木)	関東財務局と面談
	9月1日(火)	埼玉県商工会議所連合会と面談
	9月2日(水)	埼玉新聞社・パレスホテル大宮と打ち合わせ
	9月4日(金)	公認会計士フォーラム埼玉大会県会実行委員会
	9月7日(月)	学校法人連絡協議会に出席
	9月9日(水)	埼玉友好士業協議会幹事会
	9月11日(金)	関東財務局と面談

平成21年	9月15日(火)	埼玉県知事訪問
	9月24日(木)	公認会計士フォーラム開催について各所に挨拶
	10月1日(木)	公認会計士フォーラム埼玉大会実行委員会
	10月7日(水)～12日(金)	協会本部秋季全国研修会（CS中継）
	10月7日(水)	公認会計士フォーラム埼玉大会司会打ち合わせ
	10月13日(火)	埼玉友好士業協議会幹事会、
	10月14日(水)	9県会会長会議、東京会役員会 第38回公認会計士フォーラム埼玉大会、懇親会
	10月15日(木)	親睦ゴルフ大会（霞ヶ関カンツリー倶楽部）、観光
	10月26日(月)	埼玉県公益法人認定等審議会の委員を推薦
	10月29日(木)	東京会役員会
	11月2日(月)	定例常任幹事会、フォーラム慰労会
	11月3日(火)	日本スリーデーマーチ（東松山）、懇親会
	11月5日(木)	埼玉友好士業親睦ゴルフ大会（鴻巣カントリー）
	11月10日(火)	埼玉県農林公社へ外部監査に係る公認会計士・監査法人を推薦
	11月14日(土)	埼玉友好士業「暮らしと事業のよろず相談会」
	11月16日(月)	弁護士事務所（民事再生）に公認会計士を紹介
	11月26日(木)	9県会会長会議
	11月30日(月)	東京会C P E推進会議



11月28日 東京会会長杯（尾内杯）ゴルフ大会
荒井会長 準優勝
於：武蔵丘CC

ご挨拶



実行委員長
埼玉県会前会長 宮原 敏夫

新年明けましておめでとうございます。

埼玉県会の会員の皆様、三年間の会長在任中は、大変お世話になり誠にありがとうございました。皆様のおかげで無事、会長の任務を果たす

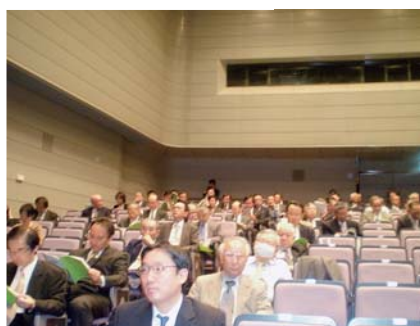
ことが出来、ほっとしているところでございます。

さて、昨年度10月14日に開催されました第38回公認会計士フォーラム埼玉大会が関係役職員の皆様並びに県会会員の皆様の多大なるご協力を得まして大成功のうちに終了しましたこと、心から感謝申し上げます。

思い起こせば、公認会計士フォーラム千葉大会が開催される以前から埼玉大会のための準備に入り、荒井伸夫先生を中心にプロジェクトチームを県会内に立ち上げました。メイン会場並びに懇親会会場の事前手配、親睦ゴルフコンペのゴルフ場の仮予約、観光の企画、特別講演会のテーマ検討、懇親会のイベント計画等々の準備に約一年間に亘り、東京会の役員、事務局員さんのご協力もいただきながら、当プロジェクトチームで当たってまいりました。親睦ゴルフコンペの開催地は名門霞ヶ関カンツリー倶楽部とし、神山敏夫先生（元東京会会長）に一年前から10組予約してもらいました。観光の「川越散策と鉄道博物館の見学」については当県会若手役員の皆さんに綿密な計画をたててもらいました。特別講演会の講師、犬飼基昭氏につきましては、当県会会員の内田俊二先生のご近所にお住まいということでご紹介いただき、快くお引き受けしてもらいました。懇親会のミニライブに出演頂きましたカンツォーネ歌手の加藤順子さんは、埼玉県に在住で幅広く活躍されているプロ歌手です。レクチャーコンサートの清塚信也氏については、当県会職員の池本和子さんからの紹介で引き受けしてもらいました。大会当日の来賓のお客様の選定に当たっては、皆さん大変お忙しい人達ばかりですので、日程・時間調整に大変苦慮しましたが、何とか滞りなく、当日は失礼のないように行えたのではないかと考えております。

いずれにしても、フォーラムの準備、大会当日の運営、また翌日の観光、ゴルフコンペ終了に至るまで、言葉では言い尽くせませんが、大変たくさんの皆様のご協力をいただき、この公認会計士フォーラム埼玉大会が無事終了しましたこと、改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとって良い年になりますよう、心よりご祈念申し上げますとともに、荒井新会長のもと埼玉県会が益々発展しますよう、会員皆様のご指導を重ねてお願い申し上げまして、挨拶と致します。



特別講演会

「DREM

～これからの地域社会におけるスポーツの重要性～

講師 財団法人日本サッカー協会会長 犬飼 基昭氏

浦和レッズの社長として功労者である犬養氏は、ご自身の欧州三菱自動車社長や埼玉県教育委員としての経験を踏まえ、ドイツのスポーツクラブを例としてスポーツと体育は異なるもので、まだ日本には本質的にはスポーツが根付いていないことを話されました。レッズ社長時代に創設した総合スポーツクラブ「レッズランド」にその思いが反映されています。また、学校教育においても、犬養氏の提言によってスポーツ・インターシップ制度や小学校への体育専任講師の設置が実現されたそうです。日本サッカー協会では「こころのプロジェクト」や「グリーンプロジェクト」等を通じて、積極的に地域社会に貢献しており、プロサッカーの興業のみを行うことがサッカー文化を育てることではないと語られたことが強く印象に残りました。(土屋文実男)



レクチャーコンサート

～ピアノで辿るショパンの愛～

ピアニスト 清塚 信也氏

レッズのユニフォームに身を包んで登場した、清塚信也さんのピアノコンサートでは、ショパンの愛の調べに乗って、日常から夢の世界へ誘われたようでした。ノクターンから始まって、幻想即興曲、別れの曲、そして、アンコールには、秋らしく、枯葉と、ラフマニノフピアノ協奏曲第2番3楽章。繊細なタッチと力強い意志が同居した、素晴らしい演奏でした。そして、とても興味深いトーク。小学校時代、毎日12時間に及ぶ猛練習の中、周囲の理解を得られず学校で孤立しても、意志を貫き通したこと。周りと違う子供を受け入れる社会であって欲しいという思い。一瞬にかける集中力を磨きぬいて、将来を左右する大きなコンクールに見事優勝したこと。芸術家清塚さんの、音楽の魅力の背景を、少し理解できたような気がします。皆さん拍手喝采のコンサートでした。(金井 千尋)

平成21年10月14日に、第38回公認会計士フォーラム埼玉大会が、大宮ソニックシティ小ホールにて開催されました。今回のテーマは「地域社会に貢献する公認会計士」。公認会計士の業務・活動や地域社会への貢献をアピールするものとして、多くの会員のみならず、一般の地域住民の方々も多数参加されました。

1. 開会の辞

野崎 一彦 東京会副会長・フォーラム実行委員会委員長

2. 主催者挨拶 尾内 正道 東京会会長

3. 来賓挨拶及び来賓紹介

①財務省関東財務局理財部長	中田 悟 様
②さいたま市長	清水 勇人 様
③社団法人埼玉県商工会議所連合会会頭	川本 宣彦 様
④社団法人埼玉県経営者協会専務理事	三国 雅裕 様
⑤埼玉経済同友会専務理事	室久保貞一 様

4. 特別講演会

「DREM～これからの地域社会におけるスポーツの重要性～」

財団法人日本サッカー協会会長 犬飼 基昭氏

5. レクチャーコンサート

～ピアノで辿るショパンの愛～ 清塚 信也氏

6. 会務報告

①協会会長挨拶・報告	増田 宏一 協会会長
②東京会会長報告	尾内 正道 東京会会長
③埼玉県会会長挨拶・報告	荒井 伸夫 埼玉県会会長

7. 会員の声を聴く会

8. 閉会の辞 蛭川 俊也 東京会副会長

懇 親 会

午後6時より、パレスホテル大宮ローズルームにて盛大に開催されました。司会は、平山県会副会長と亀井薫元テレビ埼玉アナウンサーの名(迷?)コンビでした。荒井県会会長、尾内東京会会長の挨拶の後に、来賓として上田埼玉県知事が挨拶され、真下県会顧問の乾杯で歓談になりました。余興の一つ、利き酒の地酒をテイスティングしながらの会食です。ほろ酔い気分になった頃、加藤順子さんのミニライブ「カンツォーネの夕べ」が始まりました。「ひまわり」「カルーソー」など熱唱され、イタリアの太陽と海を感じとりました。そして利き酒大会へ。正解者は意外と多く、皆さんの舌の良さに感心しました。宴もたけなわ、来年度担当地区会となる群馬県会会長が中締め挨拶を行った後、埼玉県会の会員全員が登壇、公認会計士フォーラム埼玉県会実行委員長の宮原会員が閉会の辞を述べ、解散となりました。会員同士の親睦がより深まった大宮の夜でした。

(佐久間仁志)



小江戸川越散策と鉄道博物館

平成21年10月15日、快晴、観光日和です。大宮パレスホテル前をバスが8時45分に出発、23名が目指すのは、NHKの朝の連続テレビ小説「つばさ」の舞台にもなった、城下町「小江戸」川越です。川越の蔵造りの街並みは、全国の蔵の街並みの中で、倉敷、近江八幡、に次ぐ人気だとか。江戸時代より、蔵造りの商家が建つようになりましたが、明治26年の川越大火の時、蔵造りの建物だけが焼け残ったので、商人は競って蔵造りを建て、現在の川越の街並みが形成されたそうです。さて、西川会員、猪鼻会員、佐久間の3人は、川越観光担当という重大な任務を負っていたので、大宮発のバスには乗らず、川越で参加者のお出迎えとなりました。

川越着9時25分、川越まつり会館に到着です。「川越にようこそ！」会館内には2台の山車が展示され、川越祭りの様子がスクリーンに映し出されています。山車の制作費は非常に高額で、予算が尽きてしまった仕掛中の山車も展示されていました。次に向かったのが、川越のシンボル、時の鐘。今から約400年前、川越城主・酒井忠勝によって建てられた時計台で、火災により焼失しては建て直され、現在の鐘楼は4代目だそうです。この鐘の音色は、「日本の音風景100選」の1つになっています。あれ、ブランコで遊んでいる人も…。隣のだんご屋で川越名物焼きだんごを1本、…もう1本、また1本…団子を頬張る顔の楽しそうなこと。

醤油の焼けるいい匂いを満喫した後は、菓子屋横丁へ。石畳の小道に22軒の菓子屋・駄菓子屋がひしめき、飴玉や駄菓子の甘い香りが漂っています。童心に返って

「これちょうだい」。1時間の自由行動の後、いよいよお楽しみ、老舗料亭山屋での昼食です。乾杯！歴史の趣を感じる建物と武蔵野の風趣豊かな庭園を背に、会席弁当に舌鼓を打ちました。

食後は、松本醤油商店の工場見学。江戸時代から続く醤油蔵に入ると醤油のいい香りが。醤油は、日本古来の天然醸造方式により木の手桶で2年間熟成させるそうで、生産量も増やさないとのこと。残念なのは、最近、醤油の消費量が減ってきているとのことでした。ここで、川越とはさよならです。お土産として配られた亀屋のお菓子と小江戸鏡山酒造のミニ樽をもってバスへ乗車。バスは一路、大宮の鉄道博物館へ。

鉄道博物館には、2時半頃到着。この博物館は、鉄道の技術史を分かりやすく解説しているヒストリーゾーン、鉄道の原理や仕組みなどを体験的に学習することができるラーニングゾーン、ミニ列車が走るパークゾーンに大きくわかれており、その規模に驚きました。1階のヒストリーゾーンでは、1号機関車から新幹線まで本物の車両が展示され迫力満点でした。C57が回転盤の上で回転する様子も興奮しました。特に、鉄道ジオラマは圧巻でした。25m×8mのHOゲージ用の地形模型は日本最大だそうです。照明で1日の様子を表現して、そこに多くの鉄道模型が走り15分間のショーは充分見応えのあるものでした。

4時半頃まで鉄道博物館を見学し、5時に大宮駅近くに到着、無事解散となりました。参加者皆様のご協力と関係者、特に平山会員をはじめ観光担当者のご尽力に感謝申し上げます。

(佐久間仁志)



フォーラム2日目 ゴルフコンペ報告
～名門「霞ヶ関カンツリー倶楽部」に10組39名が参加～
～優勝は二宮千葉県会員、埼玉県会最高は7位（熊木会員）～

前日夜に、かなりの雨が降り、コンディションが心配されましたが、当日朝は見事に晴れ渡り、絶好のゴルフ日和となりました。本部からは黒田副会長、東京会からは深代・蛭川副会長のご参加もあり、賑やかなコンペとなりました。
はじめは、米軍ジェット機が上空を通過する音に気を取られましたが、最後には気になくなり、各自が名門コースを存分に楽しみました（名門だけに、ドラコン&ニアピンをやってはいけない、というつまらないルールもありましたが…）

順位	会員名	地区会
優 勝	二宮 淑浩	千葉県
準優勝	大塚 宏	新宿
3 位	岸 勲	神奈川県

埼玉県会からの参加者の最高順位は、熊木会員の第7位であり、下位5名（35位以下）を独占いたしました。換言すれば、我々埼玉県会のメンバーがフォーラムの準備・実行に持てる全ての労力を提供し、そして、他地区の会員の方々に如何に気を遣ったかを象徴する順位となりました。そんな中で、余語選手・小山選手は持ち前のしぶとさを発揮し、賞を獲得しました。おめでとうございます。

来年の群馬大会の伊香保カントリーでは、遠慮なく我々埼玉県会のメンバーで上位を独占しましょう（^^）／
最後になりましたが、会場の手配をしていただきました神山敏夫元東京会会長、どうもありがとうございました。
(河合 明弘)



総務

小山 彰



新年明けまして、おめでとうございます。

埼玉県会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、平成21年度より荒井新体制のもとで総務担当の副会長を仰せつかりました。荒井新会長の基本方針のもとに諸施策を実行して参りたいと思いますので、会員の皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

その手始めとしまして、昨年10月14日、15日の一両日にわたってこの埼玉県会が担当いたしました、第38回公認会計士フォーラム埼玉大会を開催いたしました。会員の皆様、東京会役員・事務局の皆様等の協力を得まして、また多くの皆様のご参加をいただきまして成功裡に終えることができました。とくに今大会は「地域に貢献する公認会計士」と題しまして、多くの一般の方々にもご参加をいただき、私ども公認会計士がこの埼玉県にしっかりと根ざして貢献していこうという姿をご理解いただけたのではと考えております。あらためて厚く御礼を申し上げます。

さらに、本年は埼玉友好士業協議会では当会が当番会でございます。「暮らしと事業のよろず相談会」、ゴルフ大会、総会などの行事が予定されていますが、これも県会会員の皆様のご指導をいただきながら準備を進めたいと思います。諸行事への参加も含めまして、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、東京会の組織ガバナンス改革につきましても、今後のこの埼玉県会の進むべき道、採るべき選択肢について、様々な方々の意見に耳を傾け、県会会員の皆様とも十分な議論をしながら考えていきたいと思っております。

そして、本年も埼玉県等の行政や各種団体への広報活動、公会計への取組みを積極的に進め、会員相互の情報交換、研修、親睦をさらに図って参りたいと思っています。

以上、大変盛りだくさんですが、会員の皆様の会務への積極的なご参加をお願いいたします。

業務

佐野 勝正



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新たな気持ちで平成22年の新春をお迎えのことと、お慶びを申し上げます。昨年7月の新執行部の発足に伴い、新たに副会長として加わり、業務を担当させていただくことになりました。

今年度も、埼玉県をはじめとする県内各機関の皆様より外部監査人、監事、各種委員等の推薦依頼を多数いただきました。ここに、会員に対し活動の機会を賜いましたことに厚くお礼を申し上げます。また、会員の皆様には、

は、県会の活動にご理解をいただき、ご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

執行部といたしましては、昨年の公認会計士フォーラム埼玉大会のキャッチフレーズである、「地域社会に貢献する公認会計士」の考えを更に一歩進め、より一層地域社会に貢献する埼玉県会としたいと考えております。県内各機関への日本公認会計士協会埼玉県会のアピールを通じ、地域社会の皆様には、公認会計士の業務への理解を深めてまいりたいと考えております。

つきましては、県会会員の皆様にインターネットを利用したタイムリーな情報提供を行っていきたく考えておりますので、前年の埼玉県会CPAニュース第6号でもお願いしておりましたが、メールアドレスの登録をお願いいたします。

登録専用アドレス：cpakaiin@jicpa-saitama.jp

まで、氏名、会員登録番号、連絡先をご記入の上、件名を「登録希望」としてお送り下さい。

なお、会員の皆様には、さらなるご協力をいただきたく考えておりますが、推薦依頼に対しまして応募者が複数ある場合には、県会といたしましては、責任を持って推薦を行っていくために、顔と名前が分かる会員、すなわち県会の総会、研修会、社会貢献活動、その他親睦活動へ参加していただいた方を優先的に推薦したいと考えておりますので、この点、ご理解を賜りたいと思います。

最後に、今年度に県会が行った推薦状況は、以下のとおりとなっております。ご参考にしていただければと思います。

推薦状況

推薦月	団体名	内 容	人数等
平成20年4月～21年3月			
継続	埼玉県宅地建物取引業協会	宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣	4名
	埼玉県中小企業再生支援協議会	埼玉県中小企業再生支援協議会協力メンバー	13名(登録)
	さいたま市産業創造財	さいたま市産業創造財団登録公認会計士	10名(登録)
5月	所沢市	指定管理者選定委員会委員	3名
	埼玉県総務部	狭小農林振興センターほかエコオフィス化改修事業提案選定会議委員	1名
8月	埼玉医師会	外部監査人	2名
9月	さいたま地方法務局	公共サービス改革法に基づく民間競争入札における評価委員会委員	1名
	さいたま市	平成20年度さいたま市包括外部監査人(取次ぎのみ)	1名
	埼玉県社会福祉事業団	監事	1名
	国立身体障害者リハビリテーションセンター	病院における医療機器納入にかかる不正事案の検証と再発防止の為に第三者検討委員会委員	1名
10月	さいたま地方裁判所	講師(会計学や決算報告書の読み方について)	1名
	川越市	包括外部監査人候補者	1名
11月	埼玉県建設産業界団体連合会	公認会計士の紹介(公益法人の会計監査)	1名
12月	関東財務局	財務省入札等監視委員会の委員	1名
1月	埼玉県福祉部	平成21年度社会福祉施設等監査指導にかかる公認会計士	1名
	所沢市	所沢市市民医療センター運営委員会委員	1名
2月	埼玉県企画財政部	埼玉県高速鉄道幹線経営懇話会の委員	1名
3月	埼玉県健康づくり事業団	役員(監事)	1名
	埼玉県農林部	埼玉県農林公社経営懇話会の委員	1名
平成21年4月～			
4月	埼玉県福祉部	埼玉県社会福祉法人認可等及び介護老人保健施設審査委員会委員	1名
	埼玉県総務部	埼玉県熊谷地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議の委員	1名
	さいたま市	さいたま市指定管理者選定委員会委員	1名
5月	所沢市	所沢市指定管理者選定委員会委員	1名
6月	弁護士事務所	民事再生にかかる公認会計士	1名
8月	埼玉県都市整備部	平成21年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	埼玉県企画財政部	埼玉県指定管理者検証委員会委員	1名
	埼玉県信用保証起用会	「創業・再挑戦・再生審査会」委員	1名
	さいたま地方法務局	公益サービス改革法に基づく民間競争入札における評価委員会委員	1名
10月	埼玉県福祉部	埼玉県公益法人認定等審査会の委員改選に伴う委員候補者	1名
11月	埼玉県農林公社	埼玉県農林公社の外部監査に係る公認会計士又は監査法人	1名 1監査法人
	弁護士事務所	民事再生にかかる公認会計士	1名
12月	日本赤十字社埼玉支部	監査委員	1名
	埼玉県	平成22年度包括外部監査人候補者	推薦予定

研修

西川 正純



新年明けましておめでとうございます。
埼玉県会の会員の皆様には、おだやかな初春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。
昨年の定期総会において研修担当の副会長に就任いたしました。埼玉県会は、C P E単位の取得に対して、「県会だけでC P E40単位を取得」を目標に研修制度の充実を目指してきました。昨年度は、皆様方のご助言、ご協力により、充実した研修を行うことができたことに感謝いたしております。
今後につきましても、公会計、公益法人会計、社会福祉法人会計、学校法人会計、税務、企業再生など、県会会員の業務に密接したテーマを研修に取り入れていきたいと思っております。研修テーマとしてご希望等ございましたら、県会事務局まで連絡いただければ幸いです。
また、本年は、埼玉県会による地域支援として、公益法人制度改革による移行申請を準備している県内公益法人に対して、研修会を行いたく計画しております。
今後とも会員研修を充実させていくとともに、県内地域に密着した県会を目指していきたいと思っております。

平成21年度 実績及び予定

月 日	テ ー マ	場 所	参加者	講師名	単位
6月11日	本曜講座	県会事務所	9名	(C S中継)	4
6月12日	月次勉強会(会計委員会答申詳細解説)	県会事務所	10名	集合研修DVD	2
6月25日	本曜講座	県会事務所	13名	(C S中継)	4
7月8日	本部定期総会	県会事務所	22名	(C S中継)	4
	定期総会	ソニックシティ	67名	—	1
7月12日	研修会(学校法人監査におけるリスクアプローチ)	ソニックシティ	66名	富永和也氏	3
8月18~20日	夏季全国研修会	県会事務所	167名	(C S中継)	18
10月7~9日	秋季全国研修会	県会事務所	60名	(C S中継)	18
10月14日	第38回公認会計士フォーラム埼玉大会	県会事務所	304名	(C S中継)	4
12月12日	研修会(法人税事例について)	ソニックシティ	22名	村山晃氏	4
12月9~11日	冬季全国研修会	県会事務所	—	(C S中継)	18
1月21日	新春全国研修会	県会事務所	—	(C S中継)	6
2月18日	研修会(学校法人会計:テーマ未定)	ソニックシティ	—	埼玉県学課、他	4
3月24~26日	春季全国研修会	県会事務所	—	(C S中継)	18
			平成21年度合計		
			108		

平成22年度 予 定

月 日	テ ー マ	場 所	参加者	講師名	単位
4月9日	月次勉強会(テーマ未定)	県会事務所	—	集合研修DVD	—
6月未定	定期総会	未定	—	—	—
	研修会(テーマ未定)	未定	—	未定	—

事務局

池本 和子



新春のお慶びを申し上げます。
日頃より、埼玉県会にご支援・ご協力を賜り御礼申し上げます。
さて、公認会計士フォーラム埼玉大会も成功裏に終了し早3ヶ月。活気に満ちた1年でした。
皆様方にとりまして、実り多き1年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も、よろしくお願い申し上げます。

広報

佐久間仁志



新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと御喜び申し上げます。
今年度より広報担当となり、諸先輩方の協力のもと、年1回の埼玉県CPAニュース、県会ホームページを中心として会計士業務をアピールしております。特に、公認会計士フォーラム埼玉大会が盛大に催されましたことは、「地域社会に貢献する」公認会計士の役割、重要性を積極的にアピールする絶好のチャンスとなりましたので、これを契機にさらに積極的な広報活動を展開してまいります。ホームページの充実を図り、県会会員の皆様へのタイムリーな情報を提供するとともに、コミュニケーションの場としての役割を充実させていきたいと思っております。さらに、新聞企画記事等の活用を考え、ホームページと共に、埼玉県民の皆様にも会計士業務を身近に感じていただくよう工夫をしていきたいと思っております。畢竟、公認会計士が果たす地域社会への役割のアピールにつきましても、会員の皆様一人一人の業務活動、意識に大きく影響するところと思いますので、会員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

親睦

平山 孔嗣



あけましておめでとうございます。会員の皆様には穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年度より親睦担当を仰せつかっております。なにぶん右利きなもので前任の内田先生や副担当の幹事各位のご協力を得て何とか努めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。さて、楽しい県会、役に立つ県会をモットーとしてまいりましたが、昨年は会計士フォーラム埼玉大会において、皆様の絶大なご協力をおもまして当日の親睦会、翌日の川越観光、霞ヶ関カントリーでのコンペが大成功を収めることとなりました。心より感謝申し上げます。本年は、友好士業の当番会に当たるため親睦担当といたしましては秋のゴルフ会に会員の皆様のお力が不可欠となります。よろしくお願い申し上げます。本年の行事としては従来通り、健康ウォーキング、ゴルフ会は継続、懸案事項でありますフットサル、野球への参加も準備してゆこうと考えています。また、ご要望のあった親睦研修旅行も企画したいと思いますので、皆様のご都合に合わせらるってのご参加をお待ちいたしております。

21年度実績及び22年度予定

ゴルフ会

1月24日	親睦ゴルフ会及び懇親会(熊谷ゴルフクラブ)	参加者14名
4月5日	親睦ゴルフ会及び懇親会(大麻生ゴルフ場)	参加者16名
7月4日	親睦ゴルフ会及び懇親会(熊谷ゴルフクラブ)	参加者18名
11月5日	埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ会(鴻巣カントリークラブ)	参加者7名

懇 親 会

4月24日	埼玉県会活動報告会懇親会	参加者17名
7月11日	定期総会懇親会	参加者48名
11月2日	公認会計士フォーラム埼玉大会実行委員慰労会	参加者15名
12月12日	忘年会	—

ウォーキング

11月3日	日本スリーデーマーチ(東松山)及び懇親会	参加者11名
-------	----------------------	--------

親睦研修旅行<新事業>

22年晩秋	近郊の温泉にて研修及び親睦	—
-------	---------------	---



埼玉サッカーの 歴史と未来

原口 博

昨年の公認会計士フォーラム埼玉大会では、本県出身の日本サッカー協会の犬飼氏の特別講演が行われ好評を博した。犬飼氏に代表されるように、本県は幾多の名選手や名指導者を輩出し、サッカー王国として知られている。新春に際して、本県のサッカーの歴史と未来を展望、といっははや大袈裟であるが、一ファンの思いを述べてみたい。

埼玉サッカーの源流は、戦前埼玉大学の前身の一つである埼玉師範が全国制覇したのを皮切りに、浦和を中心に優れた指導者のもと、地域のスポーツとして根付いたことにある。戦後は浦和高校が昭和27年に全国選手権で優勝、31年、32年には今も語り継がれる伝説のストライカー志賀宏を擁し圧倒的な強さで連続優勝した。

浦和高校は当時も現在も屈指の進学校で知られているが、「ヘディングをすると頭が良くなる。」という珍説もあったとか。これはともかく、戦後の埼玉サッカーの一時代を画していたことは間違いない。浦和高校の2連覇の後には浦和西高が全国制覇し、埼玉代表の3連覇となった。

その後昭和30年代後半からは浦和市立高が台頭、しばらく黄金期が続いた後、40年代には、現在の浦和レッズの名前の由来ともなっている「赤き血のイレブン」のモデル浦和南高が浦和勢4校目の全国制覇を成し遂げた。都内の知人が、高校時代浦和に練習試合に来たとき、形勢が悪くなるまで飛車角落ちのメンバーで対戦されたと苦笑していたが、当時はそれくらいの差があったということであろう。

このように埼玉のサッカー＝ほぼ浦和のサッカーであった時代がしばらく続き、その後県北の

児玉高が一時代埼玉サッカー界をリードするとか、私学の武南高が台頭するとか変遷はあったが、その武南高が昭和57年に全国優勝を成し遂げたのを最後に、埼玉代表は全国優勝から遠ざかっている。

都内に有力選手が流れるといった首都圏に位置する宿命が一つにあるが、サッカー自体が全国的に普及し、地域格差が少なくなったことが一番の原因であろう。競技の発展という点では、埼玉や静岡の代表が常に横綱相撲で勝つ、という図式より良いことかもしれないが、オールドファンからするとちょっと寂しい感がある。

また、プロリーグの発足により、選手にとってもファンにとっても、学校スポーツが唯一でなくなってきたとも言えるであろう。日本一の集客力を誇る浦和レッズの人気は、古くからのサッカー所ならばのことであろう。逆説的であるが、ある面、この人気は相対的に地盤沈下した埼玉の高校サッカーへの思い入れが反映している様に思われるが……。

ともあれ、しっかり地域に根付いて今や隆々たるビッククラブとなった浦和レッズであるが、後からJリーグ入りした大宮アルディージャも、地道な普及活動の成果か、着実にファンが増えてきているように思われる。かつて浦和の高校同士が、全国優勝できる高いレベルで競い合っていたように、やはり一つの市でよきライバルが高いレベルで競い合うこと、またこの輪が次第に大きく、県下に広がってくるようであれば埼玉サッカーの未来は明るいと思われる。



埼玉県のマスコット コバトン



トトロの いるところ

大野 夏美

この夏、まだ埼玉県に越してきて3年半くらいの私は、埼玉県のことをいろいろ知ろうと、博物館や美術館、その他いろいろなところに出掛けました。

あんまり予定をたてずフラッと出掛けるものから、天候がものすごく悪いなど、いろんな出来事がありました。具体的に体験したことや見たものを挙げてみますと、…大雨、落石、化石、宝石、古墳、国宝、恐竜の骨、絵画、古文書、たぬき?! ……などなど。

なんだか、こうやって並べてみると、インディーズジョーンズみたいな冒険だったと思います。今しみじみ思うことは、その場の感動と雰囲気流されて、巨大な埴輪をお土産に買ってきて、「狭い部屋で一緒に暮らす」という事態にならず本当に良かったと安堵しています（笑）。

でも、そんななかで、いろいろ楽しいことを発見しました。

まず、私は海に面している愛知県出身なので、川が埼玉ほどキレイではなく、ホタルというものを生まれてから一度も見たことがありません。「ホタルは絶滅してしまったのだ」と勝手に思いこんでいたのですが、埼玉には、まだまだホタルはたくさんいるんですね！川があまりにキレイなことに感動して、着替えも持っていないのに川に入っただけで遊んでいたら、思いっきり転んでしまいました。そして、小さな息子が流されていかず、本当に良かったと思っています（賢明な皆さまにおかれましては、このようなマネは決してなさらないと思いますが…）

また、もともと森は好きですが、秩父山系の山々も本当にきれいだと思います。私が出掛けるときはやっぱり雨が多くて、水を含んだ土や木々は香りが濃くなって、とても気持ちがいいのです。そんなときは、たびたび泊まらせていただくお宿の窓辺で、ちょっと気取って芝桜の便せんに、祖母

への手紙を書いてみたりしています。

さらに、宝登山のロウバイも本当にきれいで、しかも、ものすごく良い香りがするのですね！ロウバイのように、姿は目立たなくとも香りたつ女性になりたいものだと思うのですが、そればかりは…、まあ、仕方のないこともあるというものですね…。

ところで、私は宮崎駿監督の「となりのトトロ」が大好きです。トトロというのは、大きくてフサフサの毛が生えている、変わった「生きもの」です。そして、小さな女の子が迷子になってしまったときに助けてくれる、やさしい生きものです。

トトロの舞台となったのは、昭和30年代前半のまだ自然が豊かな所沢だとされています。このトトロが上映された1988年、そのときのキャッチコピーは「このへんな生きものは、まだ日本にいるのです。たぶん。」でした。

それから約20年後の2009年、やっぱり埼玉には、あのおかしなやさしい生きものが、どこかにいるのだと思います。そう考えると、とてもやさしい気持ちになります。

少し話は変わりますが、グローバルな視点で見ますと、日本は少子高齢化が急速に進み、また、新興国の台頭により、年々、国際競争力が落ちていきます。この原稿を書いている現時点では（平成21年11月）、ドル不信による相対的な円高となっていますが、将来的には各国通貨に対してかなりの円安、また、異常な国債発行残高を考慮すると、経済的には豊かな時代ではなくなってゆくのかなと心配しています。そうなったら、これから大人になってゆく子供たちはタイヘンですね。

でも、今後の日本経済がどのような状態だろうと、「まだ、トトロがいそう」な環境と「トトロがいるんじゃないかな」と信じられる気持ちがあれば、けっこう幸せに生きてゆけるのではないかなと思っています。

トトロがいそうな環境を残すことや、これからの日本経済を少しでもよくしてゆくのは、親の役目だと考えています。私自身の力はあまりにも微力ですが、これからも諸先輩方に見習って少しでも役に立つ公認会計士でありたいと考えています。

最後に、トトロは「子供の頃にしか見えない」のだそうです。でも、「大人だって、毎日がんばっているのだから、見たいよ〜!」と思う、今日この頃です。

埼玉県包括外部監査人 (平成18年度、平成19年度) に就任して

佐渡 一雄

平成17年(2005年)12月に、次年度以降の埼玉県包括外部監査人の選定について、応札するかどうかが検討に入りました。当時は、埼玉県並びに県会からの情報はあったと思います。

所定の様式にて、提案書を作成するとともに、県会の熊木雄太郎会長から推薦を賜り、埼玉県の担当先である総合政策部改革政策局行政監察幹に提示しました。翌年、県担当者によるヒアリングを経て、平成18年度の外部監査人に内定し、平成18年3月にて、県議会への議案承認となりました。

そもそも、この包括外部監査は、所謂財務諸表監査と異なり、県の決算の一部又は全体を対象とするのではなく、テーマを監査人自らが選定し、指摘や参考意見を知事等に報告することとなっています。従って、財務情報等の適正性についての総合意見や個別意見も表明しません。

当県では、平成11年度から始まり、ほぼ2年ごとに監査人の選任、テーマ数は各年度では2から5テーマを選定しています。やはり、最初の関門はタイムリーなテーマをどのように選定するかです。特に初年度のテーマ数は3となるため、決定まで時間を要しました。埼玉県の年間予算は一般会計で1兆7千億円、全体では2兆3千億円。事務事業は多岐に亘ります。

テーマ選定に当たっては、前任の原口博さん(県会幹事)、川越市の外部監査人を経験した佐野勝正さん(県会副会長、現外部監査人)、県監査委員の春日俊彦さん並びに坂本隆信さんから提言や意見を聞き、前回までと重複することのないように選定しました。

平成18年度は博物館、森林整備事業、県営水道の3テーマ、平成19年度では県有財産と流域下水道の2テーマを対象に実施しました。関わる補助者は、テーマごとに決定し、総数は10名を超えました。

作業は、予備調査、現地調査、担当課所からの聴取や資料の閲覧、報告書の作成と続き、構成の見直しを経て、3月に報告書を知事や議員への提出となります。

当時は、本庁内で作業する場合、常駐可能な会

議室等のスペースがないため、調査結果や報告書のとりまとめは事務所での作業となりました。この面から、作業効率の面では、十分ではなかったと思います。(なお、現在では、改善され常駐可能となっています。)

特に印象深かったのは、現地調査です。行田市にある「さきたま古墳群」では、「埼玉」の名称の由来を訪ね、古くからの歴史を再認識することができ、森林整備事業では、県西北部の神泉村下久保ダム上流の森林を視察しました。木材価格の低落と補え切れない森林整備費など多くの課題があることを知らされました。県営水道では、浄水場の視察を通じて、安全な水確保は行政の重要な業務であること、当県の規模は全国一であり、他県と比較しても低い原価であること、完全な企業会計の手法は導入されておらず、取水する権利である水利権は完全に確保されていないことなど事業上の懸念もわかりました。

振り返ってみますと、今までの事業会社等に係る監査業務や会計のアドバイスの経験のほかに、行政のミッションや事務事業の理解は必要となりますが、多くは、この包括外部監査を通じて得ることができます。県の行政の多くは、年度予算としてのフローに重点を置き、時系列やストック概念については、優先的にモニターすることは不十分ではあると感じております。この面から財務情報を外部報告や内部管理から多面的に分析、検討し、改善事項を提言することは、私達が有する専門性から十分役割を担えるのではないのでしょうか。昨今話題となっています行財政改革の一助として、本業務にチャレンジすることを推薦致します。

* 部署・役職名は当時のままを記載しました。



東京会組織ガバナンス改革

昨年来お騒がせいたしております東京会組織ガバナンス改革も東京会の組織設計の段階からブロックの運営に関する段階に入りました。根源の本部のガバナンス改革は、東京会の人的リソースを本部が活用できるような方向性が打ち出され、各委員会を始め合理的な運営が出来るような決定がなされました。また組織改革は東京会の決定が尊重され、東京会を5つの特別ブロックに分け、東京都内を4つ、残りの9県会を1つのブロックとしてまとめることとし、情報の伝達、会長指示事項の遂行、会員からの意見集約、進達、研修会等の開催及び会員相互の親睦を必須事業とされます。肥大化した東京会を会員のためにより効率的な運営をするために、ブロックを設置し、顔の見える会務運営を目指すことになります。埼玉県会はその中の県会ブロックに所属し、前記の機能と共に各県会と協力しフォーラムの運営などを担うこととなります。これらの組織は細則によって

決められ将来の状況の変化に柔軟な対応が出来るよう配慮されています。また、財政についても本部業務の拡大に伴い本部財政と東京会財政のバランスを鑑み抜本的な改革が求められる時期が来ています。今後の検討事項としては、役員の選出方法、各県会の地域会への独立、会費の取扱、大規模法人の取扱、東京会の名称変更等まだまだ重要なものが残っています。会員の皆様も今後の動きを注視していただきたいと思います。

東京会組織ガバナンス改革プロジェクトチーム構成員 平山孔嗣



7月4日
ゴルフ会



7月11日
定期総会研修会
懇親会



7月14日
さいたま市長
訪問



11月3日
スリーデーマーチ



埼玉県会地域別会員名簿（平成21年10月1日現在）

地 区		正 会 員				準 会 員（４号準会員含む）				会 員 数				
										正	準	計		
南 部 地 区	北本	池田 政治 富山 兼忠	勝田 重道 松村 栄	木村 繁男	佐藤 尚義					6	0	6		
	桶川	松田 正典				上松 真郎	齋藤 祐馬	松田 志史		1	3	4		
	伊奈	町田 賢朗				田中 将大				1	1	2		
	上尾	井上 克典 鈴木 巳和 羽田 隆	小瀬 則樹 川岡 謙二 松岡 生雄	小宮 山司 関上 長吉 三上 夫	佐藤 孝二 中宮 更英 宮田 英生	恩地 中松	顯伸 太郎 仲 弘	金井 山本 中 崇	克明 潤明 憲 憲	菊池 西村 惠子 雅史	14	8	22	
	大宮区	網野 賀藤 賀藤 伊奈 賀藤 小宮 賀藤 古賀 賀藤 関田 賀藤 中島 賀藤 松山 賀藤 三山	荒井 飯井 井上 原澤 小瀬 小宮 小瀬 小宮 小瀬 小宮 小瀬 小宮 小瀬 小宮 小瀬 小宮	荒井 井上 石川 大野 石川 大野 石川 大野 石川 大野 石川 大野 石川 大野 石川 大野	明二子 樹彦 洋陽 尚高 明二子 樹彦 洋陽 尚高 明二子 樹彦 洋陽 尚高 明二子 樹彦 洋陽 尚高	安有 達枝 枝 倉島 枝 倉島 枝 倉島 枝 倉島 枝 倉島 枝 倉島 枝 倉島	岳 輔樹 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠 忠	阿 部大 石 大 石 大 石 大 石 大 石 大 石 大 石 大	学 洋翠 貴 一 貴 一 貴 一 貴 一 貴 一 貴 一 貴 一	荒 逸奥 逸奥 謙 逸奥 謙 逸奥 謙 逸奥 謙 逸奥 謙 逸奥 謙 逸奥 謙	輔 惠介 大 織進 大 織進 大 織進 大 織進 大 織進 大 織進 大 織進	60	28	88
	北区	飯倉 中島	崎谷 寿	高橋 基貴	寺見 三雄	阿部 幸太郎 内田 順子	和 幸太郎 幸 太郎	一ノ瀬 太郎 瀬 太郎	宇賀 神貞夫 神 貞夫		5	8	13	
	西区	内山 義雄	浦野 雄二	深谷 豊(常)		吉田 陽介					3	1	4	
	見沼区	相川 聡志 島田 敏一郎	大金 忠一 町野 宏一	奥原 主令 松原 枝	加沢 憲一 山口 憲一	安藤 正幸 藤下 正幸	小林 矢部 矢部 矢部	輝 一誠 一誠 一誠	鈴木 勇輝 勇輝 勇輝		8	5	13	
	中央区	猪俣 秀毅 河合 隆昌 本合 隆昌 古屋 隆昌	遠藤 隆昌 高橋 隆昌 高橋 隆昌 高橋 隆昌	垣沼 隆昌 沼宮 隆昌 沼宮 隆昌 沼宮 隆昌	河合 隆昌 合行 隆昌 合行 隆昌 合行 隆昌	新井 井高 井高 井高	直 毅亮 毅亮 毅亮	新 坂村 坂村 坂村	孝子 孝子 孝子 孝子	内 佐健 佐健 佐健	14	10	24	
	浦和区	青柳 立野 柳 立野 柳 立野 柳 立野 柳 立野 柳 立野 柳 立野 柳 立野	石川 寛一 柳 寛一 柳 寛一 柳 寛一 柳 寛一 柳 寛一 柳 寛一 柳 寛一	内田 俊二 神田 俊二 神田 俊二 神田 俊二 神田 俊二 神田 俊二 神田 俊二 神田 俊二	大久保 明茂 久保 明茂 久保 明茂 久保 明茂 久保 明茂 久保 明茂 久保 明茂 久保 明茂	阿久 津周 久 津周	聖 樹郎 樹郎 樹郎	友 友林 林 友林	浩 浩平 平 浩平	加 藤村 村 藤村	31	14	45	
	桜区	関口 俊雄	長岡 保彦			柳嶋 延欣 嶋 延欣					2	1	3	
	緑区	海野 亀友 木暮 友喜	大石 勝三 松永 昭三	北原 英治 吉田 俊	桐岡 弘幸	浅野 山口 山口 山口	河村 智浩 村 智浩	曾 根道 根 道雄			7	5	12	
	南区	相場 哲也 相場 哲也 相場 哲也 相場 哲也 相場 哲也 相場 哲也 相場 哲也 相場 哲也	板橋 信夫 高橋 信夫 高橋 信夫 高橋 信夫 高橋 信夫 高橋 信夫 高橋 信夫 高橋 信夫	岩波 均二 岩波 均二 岩波 均二 岩波 均二 岩波 均二 岩波 均二 岩波 均二 岩波 均二	奥田 仁道 角田 仁道 角田 仁道 角田 仁道 角田 仁道 角田 仁道 角田 仁道 角田 仁道	新井 達哉 井 達哉	栗 野小 野 小	伊 東澤 澤 伊東	知 文淳 文 淳貴		20	13	33	
	岩槻区	安齋 亮三 角田 亮三	相原 南二 相原 南二	秋葉 孝一 秋葉 孝一	岩波 一泰 岩波 一泰	大 西山 山 西根	北 島力 島 力示	正 章龍 章 龍臣	中 村崇 村 崇宏		8	5	13	
	(さいたま市 計)										180	102	282	
	蕨	浅野 晋也 中川 幹也	雨堤 正博 山本 正博	小林 順一	多田 広光(顧)	向田 隆義	藤井 佑介				6	2	8	
	川口	青木 忠幸 木村 雅彦 鎌田 雅彦 佐藤 雅彦 井内 雅彦 内込 雅彦 藤井 雅彦 森田 雅彦	石ヶ 俊也 小瀬 俊也 小瀬 俊也 小瀬 俊也 小瀬 俊也 小瀬 俊也 小瀬 俊也 小瀬 俊也	磯貝 光一 加藤 秀一 加藤 秀一 加藤 秀一 加藤 秀一 加藤 秀一 加藤 秀一 加藤 秀一	津井 高夫 津井 高夫 津井 高夫 津井 高夫 津井 高夫 津井 高夫 津井 高夫 津井 高夫	井 山合 山 合木	隆 隆奈 奈 隆奈	市 塚山 塚 山	史 知和 知 和由	片 野小 野 小	哲 也敦 也 敦摩	41	18	59
	鳩ヶ谷	小池 克徳	常陸 泰司			伊藤 愛理 宮 理珠	上 野森 森 野	洋 祐介 祐介 祐介	田 野口 野 口		2	5	7	
	草加	秋濱 政志 猪股 篤之 谷 福	浅野 久明 飯田 桂子 富野 曉	伊藤 忠温 長中 英一 中島 健一	猪股 世紀 関根 敬子 関根 敬子	阿部 徳仁 倉 徳仁	山 田川 田 川	猪 股小 股 小	史 紀太 紀 太郎		15	13	28	
	戸田	小川 千恵子 杉本 清文	久保 健二 出喜 代美	熊木 雄太郎 高橋 謙一	小池 亘	遠藤 英樹 畑 英樹	木 原平 原 平林	祥 智賢 賢 智賢	田 中藤 中 藤井	信 安佑 佑 安佑	7	7	14	
	和光	荒木 聡俊 世古 尚俊	石塚 兼也 根本 恵里加	萩野 雅之 橋本 三男	柴崎 智延 谷内 守	久野 聡麻 野 聡麻	住 吉松 松 吉松	一 樹裕 樹 裕憲	小 林弘 林 弘和		8	5	13	
	朝霞	荒井 薰光 根津 光弘	稲山 十四郎 長谷川 介	高柳 尚視 谷 泉夫	新里 智弘	伊沢 大輔 沢 大輔	藤 藤本 本 藤本	齊 服部 部 真岩	裕 介教 介 教秀		7	10	17	
	新座	今村 正成 橋本 成俊	岡本 芳郎 平山 剛	春日 敏彦 柳澤 孝行	川口 恵都子	太刀 秀臣 刀 秀臣	長 崎善 崎 善道	山 北文 北 文也			7	3	10	
	志木	赤尾 成俊 上原 由夫	有賀 小池 小池 利秀	飯島 鋭二 関本 享	岩間 見一 宮野 幸裕	田 島大 島 大樹	田 上裕 上 裕孝	成 田弘 田 弘			8	3	11	
南部地区 合計										281	168	449		
西 部 地 区	東松山	島海 隆雄	堀 一男(顧)	真下 和男(顧)	山崎 剛	彼ノ 矢 毅				4	1	5		
	坂戸	角野 崇雄	川村 義則	西川 裕康	柳澤 享	原口 純				4	1	5		
	川越	安藤 隆允 藤井 博司 萩野 博司 鈴木 勝美	阿部 軍喜 山本 章和 栗原 智博 関口 孝博	伊藤 安雄 藤田 三志 佐久間 志(副) 竹内 正純(副)	猪鼻 正彦 田中 勝正 佐野 正宏 堀江 英夫	赤松 大輔 松 大輔	倉 持原 持 原	四 郎浩 郎 浩一	佐々 木々 木 々々	航 浩明	20	6	26	
	富士見	北村 宏二	高波 美弥子	當麻 政悦	芳原 勝伸	勝又 小松 又 小松	大 博洋 博 洋政	川 島種 島 種田	木 村中 村 中西	太 一祥 一 祥子	4	7	11	
	ふじみ野	齋藤 博	平林 素子			磯崎 亜矢子 崎 亜矢子	久 保田 田 俊一	渡 渡辺 辺 市川	彈 圭介		2	3	4	
	狭山	井上 徹二 茂田 芳雄	栗原 洋一 清水 規明	酒井 俊幸 鈴木 弘一	坂野 好邦 高柳 清	磯崎 亜矢子 崎 亜矢子	久 保田 田 俊一	渡 渡辺 辺 市川	彈 圭介		11	4	15	

※地域区分は、事務所所在地による

地 区		正 会 員							準会員（４号準会員含む）					会 員 数				
														正	準	計		
西 部 地 区	所沢	阿部谷藤 亮正司之洋一樹 大道具博宣昇巨	岩崎酒井東澤越山 口	力也之彦躬司進弘 雅	上本原山藤田山 中	壽義高敦和幸 一良(願)	大東朗井中井城 吉島	幸英二 正秀 力良	秋山寺藤中田岡山 小近田永盛横奈	義之也輝孝介緒理美 正昌緒緒美	岩丸藤川中村星田 小佐中中諸吉	涼一夫賢之慎彦之 嵩 国正	江口藤木島井田 鈴中藤井山	輝和陽太貴武史	27	20	47	
	飯能	嶋田 昇	田中	里和	吉島	一良(願)	吉島	力良	朝比奈洋介和夫 森	池田	五郎	嘉陽田洋平		4	4	8		
	入間	関谷伊和男	田中	清一	中村	透	牧	哲郎	岸野 俊樹 凉子	草間 仲田 越智	愛子 吉徳 一英	呉田 将史		4	5	9		
	日高	野崎紀美子							安藤 智洋			橋本 理		1	3	4		
	鶴ヶ島	海老澤敏夫	橋爪	和夫					三ツ木 寛					2	1	3		
	川島								道祖士将寛					0	1	1		
	滑川	佐藤 正恒												1	0	1		
	入間郡三芳町	渡邊悠紀子							泉家 章男	菅野 卓				1	2	3		
	入間郡毛呂山町								新井 晶美					0	1	1		
西部地区 合計															85	59	144	
北 部 地 区	小川								野澤 崇					0	1	1		
	熊谷	石井 喜浩 浩川邊慶之助 田代本塚雄一郎	大谷 金井能見	宏一 千尋(常) 孟俊	大谷 木萩原	益世(幹) 英男 篤	荻野 田口蛭川	八郎 浩司 俊也(願)	今井 泰弘 裕史	木下 和紀 丈公	鯨井 久敬 佐藤 愛彦		13	6	19			
	深谷	黒須 克仁	武田	哲	塚原	昭二			中澤 仁之				3	1	4			
	本庄								今村 祐介				0	1	1			
	鴻巣	大塚 和恵	清水	正	中澤	隆			加藤 健介 聡	須長 蓮原	初亮	田中 元氏	法和 元	3	6	9		
	行田								久保島康輔	為ヶ井敏一				0	2	2		
	吉見	木村 毅							根岸 泰文					1	1	2		
	秩父	小泉 眞人	肥沼	秀司										2	0	2		
岡部	小林喜一郎												1	0	1			
北部地区 合計															23	18	41	
東 部 地 区	羽生	松本 猛							岡田 健吾					1	1	2		
	加須	高野 勝良	原 稔											2	0	2		
	久喜	向後 真徳	佐藤 直司	永田 勲	山郷 正胤									4	0	4		
	蓮田	飯野 浩一(幹)	飯野 雪男	小川 進					小林明日香	堀尾 直也				3	2	5		
	春日部	池田 博行(常) 黒田西島渡邊	博好代充夫 喜夫	磯山神足廣瀬	昭一 勝彦 哲也	遠藤 忠宏 小池久美 矢島和彦	尾花 花田 中山本	淳治 彰治(願) 清次	厚井 翔太 拓野	梅田 純一 柴田 英樹	酒井 雄一		13	5	18			
	越谷	飯塚 岩井 長田久保長谷川 松村 俊夫	男洋志晴(常) 武俊夫	薄井熊谷田日向丸山	賢樹 盛悦子 健一 陽司	大沢 日出夫 清田為ヶ谷喜一郎 藤原水嶋 拓正 樹	大鷲 雅一 高野悦雄 村南尚友 堀渡井富志雄	雅一 雄尚 友嗣 志雄	井橋 夕紀子 航太郎 哲也 哲史	今市 朋之 金子英則 安田良祐	哲則 朋之 英則 良祐	大西 井八 藤巻渡 井渡辺	信行 信明 智紀 信之	20	12	32		
	三郷	今西山 崇雄 勝矢	岡庭 武利(幹)	高山 康明	富樫 信子				五十嵐 力 佐川雄大 鈴木葉子	大塚 健司 柴崎亨之 永井貴之	小林 佐那子 鈴木 努		5	8	13			
	八潮	池川 穰治	平山 誠	福野 幸央					落合 俊彦	種家 宗利			3	2	5			
	吉川	北林 啓司	野口 千春						太田 洋介	小山 修平	久田 真義		2	3	5			
	杉戸												0	0	0			
	白岡	岡山 和愛	岸川康太郎	坂巻 仁志					岡安 俊英	藤田 達郎			3	2	5			
	幸手	菅谷 君一							井澤 茂				1	1	2			
	宮代	中村 仁							金子 淳	高木 雅和			1	2	3			
	栗橋	山中 裕之							白澤 敦子				1	1	2			
	松伏								佐々木一徳 歩行田大樹	佐藤 洋介	武田 望美		0	4	4			
	鷺宮								羽島 恵美	松尾 佑一			0	2	2			
	上里町								吉田 祐一				0	1	1			
	東部地区 合計															59	46	105
	埼玉県会合計（公 開）															448	291	739
	（非公開）															1	8	9
	埼玉県会総合計															449	299	748
在住地区会員	石田藤井中村 吉田	猛士美宏暢元彦 宏	磯部山佐木野田 和	正昭敏彦和弘 正夫	内田川口佐瀬 野崎	研宗 俊道 一彦	江口楠山神保 寶野	俊正典正人 裕昭	太田保 鈴木 深代	啓之直生 篤志 勝美	岡田黒澤 高橋 船山	清一 達夫 卓三	緒方河野 對馬 本間	雅人 幸久 和利 雄	奥山 小島 府川 宮島	弘幸 昇 正則 博和	柿内權田 中嶋 余語	暢介 俊枝 教品 直樹 (合計38名)

*凡例＝（会）：会長（副）：副会長（常）：常任幹事（幹）：幹事（監）：監事（願）：顧問（相）：相談役

日本公認会計士協会埼玉県会 平成21年度役員名簿 (H21.10.1現在)

役 員 名	氏 名			
会 長	荒井 伸夫			
副 会 長	小山 彰 (総務)	平山 孔嗣 (親睦)	佐久間仁志 (広報)	
	佐野 勝正 (業務)	西川 正純 (研修)		
監 事	内田 俊二	櫻井 茂		
常 任 幹 事	大野 夏美 (総務)	河合あゆみ (総務)	田山 毅 (親睦)	
	長谷川俊晴 (親睦)	池田 博行 (広報)	河合 明弘 (広報)	
	土屋文実男 (業務)	深谷 豊 (業務)	猪鼻 正彦 (研修)	
	金井 千尋 (研修)			
幹 事	飯野 浩一	大谷 益世	岡庭 武利	賀川寛一郎
	清水 秀雄	長島 良亮	原口 博	村田 憲司
顧 問	鈴木 義夫	多田 広光	堀 一男	藤野 廣治
	真下 和男	山本 清次	三間 邦夫	蛭川 俊也
相 談 役	吉島 一良	坂本 隆信	熊本 雄太郎	宮原 敏夫
	石山 豊	海野 亀男	稲山十四助	

埼玉県内に事務所を有す監査法人

あずさ監査法人北関東事務所
監 査 法 人 ク ラ リ テ イ
さくら萌和有限責任監査法人さいたま事務所
至 誠 監 査 法 人 熊 谷 事 務 所
新日本有限責任監査法人さいたま事務所
有限責任監査法人トーマツさいたま事務所

今年度も、埼玉県会CPAニュース「第7号」を発刊することができました。

本号は、公認会計士フォーラム埼玉大会の特集記事が4ページ入り、史上最大の20ページにわたる、デラックスなものとなりました。その分、原稿、写真など、より多くの方々のご協力を頂戴しました。ご協力本当にありがとうございました。

さて、昨年はNHKの連続テレビ小説「つばさ」の放送で、視聴率はさておき、川越市内は観光客でごった返しました。秋の京都などもそうですが、ごった返した時が最初の観光となれば、その観光地の印象は、ごちゃごちゃしている、となります。どこ行っても混んでいる、飲食店も行列に並んでやっと食べて、美味かったかどうかより、混んでたね、となります。なかなか混んでいると、その土地の良さを噛みしめることは難しいですね。ただ、例外としては、お祭りがあります。もちろん、神事には静かなものも多いですが、街の祭りは、騒がしい方が活気があっていい、ということになります。昨年は埼玉フォーラムがそうでした。今年は埼玉友好士業協議会のよろず相談会があります。ごちゃごちゃして、活気があっていいね、となるかどうか。とりあえず、ごちゃごちゃした雰囲気を楽しみに初詣に行ってきます。(仁)



平成21年の公認会計士試験の合格者数（過去の2次試験合格者を除く）は1,916名であり、前年の3,024名から1,108名の減少となりました。

試験制度が変わったのは平成18年からで、合格者数の推移は「1,372名→2,695名→3,024名→1,916名」となっています。何とも極端な数字です。3,000人超の合格者が出た年には、就職できない人、大手監査法人に就職しても自宅待機になった人等が多数いたようです。

「資格だけではメシが食えない」とは良く言われますが、「資格があっても現場に行けない」のでは、必要な経験が積めず、ますますメシが食えなくなります。そうすると、優秀な人材が他の業界へ流れてしまい、公認会計士業界は先細りです。

今回の合格者数の減少は、実は業界の発展のために歓迎すべきことではないでしょうか？ (明)

日本公認会計士協会 埼玉県会

〒330-8669

さいたま市大宮区桜木町1-7-5

ソニックシティビル8F

TEL: 048-644-9050 FAX: 048-644-9054

E-Mail: kenkai@jicpa-saitama.jp

URL: http://www.jicpa-saitama.jp

埼玉県会 CPAニュース

発行人: 埼玉県会会長 荒井伸夫

編集人: 副会長広報担当 佐久間仁志

構成: 常任幹事広報担当 河合明弘

印刷所: 株式会社 正文社

写真提供: 第38回公認会計士フォーラム

埼玉大会(表紙)